

人材確保が難しい中、事業の安定的な継続に向けて、社内および店舗の改革に着手。解決すべき課題を明確にし、それぞれの課題に対してデジタルツールの活用を通じた解決を目指す。

有限会社玉木製麺				<a href="https://izumo-tamaki.com/web/">https://izumo-tamaki.com/web/</a>	
本社所在地	出雲市斐川町沖洲1620	資本金	1,000万円	事業概要	そば・うどんの飲食店運営、麺類の製造・卸・販売
代表者名	玉木暢	従業員数	170名		
設立年	1948年	業種	飲食業		

## 背景

- コロナ禍の影響や、人口減少に伴う人材確保の困難性に直面する中、当社においては「事業の安定的な継続」が重要経営課題であった。
- 事業環境の変化を踏まえ、店舗オペレーションの改革を目指しており、オペレーションの統一化、テーブルオーダー導入、ペーパーレス化、シフト管理のデジタル化、会議の効率化、販促システムの構築などを推進したいと考えていた。
- DX戦略により業務効率化と従業員満足度（ES）を高めるとともに、得られたデータを活用して顧客満足度（CS）を向上させたいと考えている。
- 経営改革を通じて逆風を追い風に変え、同様の課題を抱える地方企業の先例となることを目指したいと考えている。

支援者 | 株式会社えすみ

## 計画の骨子

戦略の立案と実行にあたっての課題整理	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 2025年度の戦略として、店舗改革だけではなく、社内改革も実現することとした。</li><li>▶ これらを実現するにあたり現状分析を踏まえ、5分野の解決すべき課題を設定した。</li></ul>
課題解決策の立案	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 5分野の課題について、それぞれの課題を深掘りしたうえで、課題解決策を立案した。たとえば、「店舗オペレーションの統一化」という課題に対しては、集合研修等の開催が難しいといった事業環境を踏まえ、業務のマニュアル化と「eラーニング」の活用という解決策を立案した。</li></ul>
推進手順の策定	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 解決策の実行にあたり、推進体制やデジタルツールの選定基準、さらには効果検証項目やDX推進状況の可視化手順を定めた。</li></ul>